

# 破傷風ワクチンの説明書

## 商品名:破傷風トキソイド

### ■破傷風について

破傷風菌が傷口から感染し、神経毒素を産生し筋肉の硬直や痙攣を起こします。肩こり、舌のもつれ、開口障害、歩行障害が生じ、呼吸不全で死亡することもあります。死亡率は10～20%です。ヒトからヒトへは感染しません。

### ■流行地域

- ・破傷風菌は世界中の環境に分布しており、どの地域でも感染する危険性があります。
- ・日本でも毎年100名前後の患者が発生しています。ワクチンを打てば、防げます！

### ■感染経路

傷口から感染します。泥や便、唾液で汚染された深い傷は感染の危険が高く、動物の咬傷がこれにあたります。津波や土砂災害では、泥や土が向きだしになります。災害ボランティアの破傷風感染が確認されています。

### ■診断と治療

- ・臨床経過と症状により、専ら臨床的に診断します。
- ・必要に応じてワクチンの追加接種やグロブリン投与を行います。
- ・抗菌薬の使用で死亡率を低下させることができます。

### ■予防方法

ワクチンを接種する。

### ■ワクチン接種対象者

- ・1968年以前に生まれ、破傷風ワクチンを接種していない人。
- ・最後にワクチンを接種してから10年以上経過した人。
- ・災害ボランティア活動をする人。

### ■ワクチンについて

- ・破傷風ワクチンは国内ワクチンです。
- ・成人用3種混合ワクチン(Tdap)の併用もしくは代用もお勧めします。

	破傷風トキソイド(国内ワクチン)
【製造会社】	武田薬品工業
【適応年齢】	生後3ヶ月以上。
【接種回数】	3回接種。
【スケジュール】	初回と1～2ヶ月後と半～1年後。
【接種方法】	筋肉注射。
【持続期間】	10年間。

### ■副反応

注射部位の違和感、発赤、疼痛を生じることがあります。まれに発熱、頭痛、倦怠感、筋肉痛を認めます。ごくまれにアナフィラキシーショックを起こします。

### ■諸注意

過去に同ワクチンにアレルギー反応を起こされた方、発熱している方は接種できません。妊娠・授乳中の方には乳幼児の百日咳予防を考慮し、Tdapの接種を推奨します。

### ■健康被害が生じた場合

PMDAによる公的救済制度の適応です。発生した副反応などの症状には保険診療で対応します。